

## 平成22年度 設楽ダム漁業実態調査説明書

### 1. 業務の概要

#### 1) 業務の目的

本業務は、設楽ダム建設事業による影響について、ダム周辺（豊川等）の漁業を対象に、実態の調査を行うものである。

なお、本業務に係る落札決定及び契約締結は、当該業務に係る平成22年度本予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものである。

#### 2) 業務内容

本業務の主な業務内容は以下のとおりである。

- ・資料調査 1式
- ・面接聴取及び実態調査 1式

#### 3) 履行期間

契約締結日の翌日から平成23年3月25日までを予定している。

#### 4) 入札方式等

本手続きは、参加表明書及び企画提案書を同時に提出するものである。

本業務は資料提出、見積書提出を電子入札システムで行う対象業務である。ただし、以下の点に留意すること。

- ① 電子入札システムで使用できるICカードは、代表者又は入札・見積権限及び契約締結権限について年間委任状により委任を受けた者のICカードのみである。
- ② 当初より、電子入札システムによりがたい者は、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に変えることができる。「紙入札方式参加承諾願」については、国土交通省中部地方整備局ホームページアドレス：<http://www.cbr.mlit.go.jp/> 「企業と自治体」－「入札・契約情報」－「電子入札情報」－「電子入札中部地方整備局様式」よりダウンロードすること。

この申請書の受付窓口及び受付時間は次の通りである。

- ・受付窓口：国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所 総務課

〒441-1341 愛知県新城市杉山字大東57

TEL 0536-23-4331 FAX 0536-23-4401

まで持参により提出すること。

- ・受付時間：土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日の10時00分から16時00分まで。

#### 5) 成果品

成果品は次のとおりとする。

- ・成果報告書（CD-R） 2部

- ・業務週報・打合せ記録簿 1式
- ・その他調査職員が必要と認めたもの 1式

## 6) その他

本業務の契約書は用地調査等請負契約書とし、特記仕様書は別添のとおりである。

## 2. 企画提案書の提出者として選定されるために必要な要件

企画提案書の提出者は、以下に示す要件を満たす全ての者を選定する。

なお、企画提案書の提出者として選定した者には、選定通知書を電子入札システムにより通知する。ただし、紙入札方式による参加者については書面により通知する。

選定通知の日は平成22年4月15日を予定する。

### 1) 基本的要件

参加表明書を提出する者（以下、「参加表明者」という。）は、次の①に掲げる資格を満たしていること。

#### ①単体企業

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）における補償コンサルタント業務に係る平成21・22年度の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
- (3) 中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者については、手続開始の決定後、中部地方整備局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けている者を除く。）でないこと。
- (5) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者等又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等から排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (6) 入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、競争契約入札心得第4条の3第2項の規定に抵触するものではないことに留意すること。

#### a) 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

ア. 親会社と子会社の関係にある場合

イ. 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

b) 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、イ. については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

ア. 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

イ. 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

c) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記a) 又はb) と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

※(2)に掲げる一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていないものも参加表明書及び企画提案書を提出することができるが、その者が企画提案書の提出者として選定されるためには、企画提案書の提出者を選定する時までには、当該資格の認定を受けていなければならない。なお、選定通知の日は平成22年4月15日を予定する。

2) 業務実施体制に関する要件

参加表明書に示される業務実施体制に関し、次の事項に該当しないこと。

①再委託の内容が、主たる部分の場合。

②業務の分担構成が、不明確又は不自然な場合。

3) 参加表明者の業務実績等に関する要件

参加表明書を提出する者は、平成12年度以降（10年間）に完了した以下に示す同種業務において、1件以上の実績を有していること。ただし、業務の実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の業務は実績として認めない。

同種業務：漁業実態調査等に関する業務

4) 配置予定管理技術者の資格に関する要件

配置予定主任担当者については以下に掲げる資格等のいずれかを有し、本業務に係る関係権利者との間において人的関係がない（※1）こと。

なお、競争参加資格確認申請書等の提出期限までに当該登録を受けていない場合にも競争参加資格確認申請書等を提出することができるが、この場合、競争参加資格確認申請書等の提出時に登録規程に基づく当該登録部門に係る登録申請書の写し又は登録追加申請書の写し、若しくは社団法人日本補償コンサルタント協会が定める補償業務管理士研修及び検定試験実施規程（平成3年3月28日理事会決定、以下「実施規程」という。）第20条に基づく当該登録部門に係る研修及び検定試験の免除申請の写しを提出するものとし、当該業者が入札に参加するためには競争参加資格確認通知の日までにいずれかの登録を受け、登録証の写しを提出しなければならない。競争参加資格確認通知の日は、平成22年4月7日を予定する。

- ・ 登録規程第2条第1項の別表に掲げる営業補償・特殊補償部門に係る補償業務管理者。
- ・ 実施規程第3条に掲げる営業補償・特殊補償部門において実施規程第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録された補償業務管理士。

※1 「人的関係がない」とは、予定主任担当者が本業務に係る関係権利者でないこと及び関係権利者の役員を兼ねていないことをいう。

#### 5) 配置予定管理技術者の業務実績に関する要件

配置予定主任担当者は、平成12年度以降（10年間）に完了した以下に示す同種業務において1件以上の実績を有さなければならない。ただし、業務の実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の場合は実績として認めない。

同種業務：漁業実態調査等に関する業務

#### 6) 手持ち業務量に関する要件

① 平成22年4月1日現在、全ての手持ち業務の契約金額合計が4億円未満かつ手持ち業務の件数が10件未満である者であること。

ただし、平成22年4月1日現在での手持ち業務のうち、国土交通省の所管に係る建設コンサルタント業務等において調査基準価格を下回る金額で落札した業務がある場合には、全ての手持ち業務の契約金額合計が2億円未満かつ手持ち業務の件数が5件未満である者でなければならない。

なお、手持ち業務とは主任担当者、担当技術者として従事している契約金額が500万円以上の業務をいう。

② 本業務の履行期間中は配置主任担当者の手持ち業務量が1)に示す金額及び件数を超えないこととし、超えた場合には、遅滞なくその旨を報告しなければならない。その上で、業務の履行を継続することが著しく不相当と認められる場合には、当該配置主任担当者を、以下の(1)から(4)までのすべての要件を満たす技術者に交代させる等の措置請求を行う場合があるほか、業務の履行を継続する場合であっても、本業務の業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

(1) 当該配置主任担当者と同等の同種業務実績を有する者

(2) 当該配置主任担当者と同等の技術者資格を有する者

(3) 当該配置主任担当者と同等以上の地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績平均点を有する者又は過去5年間の同種業務における地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が75点以上である者

(4) 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は特記仕様書において設定している配置予定主任担当者の手持ち業務量の制限を超えない者

#### 7) 企画提案書に関する要件

参加表明者は、次の事項について企画提案書を提出すること。

- ①実施方針
- ②業務実施体制
- ③特定テーマ

本業務において企画提案を求める特定テーマは、以下に示す事項である。

- ①資料収集における留意点
- ②実態調査等に当たっての留意点

### 3. 担当部局

〒441-1341 愛知県新城市杉山字大東57  
国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所  
①総務課：契約手続きに関すること。  
電 話 TEL 0536-23-4331  
F A X FAX 0536-23-4401  
メールアドレス：keishita@cbr.mlit.go.jp

②企画提案書等に関すること。  
電 話 TEL 0536-62-1290  
F A X FAX 0536-62-1291  
メールアドレス：keishita@cbr.mlit.go.jp

### 4. 参加表明書及び企画提案書の提出期間、提出先及び方法

電子入札システムにより提出すること。

ただし、紙入札方式による提出の場合は、1部を持参若しくは郵送（書留郵便に限る。）  
すること。電送又は電子メールは受け付けない。

提出期間：平成22年3月26日から平成22年4月12日までの土曜日、日曜日及び祝日を  
除く毎日、10時00分から16時00分まで（紙入札方式による提出の場合も同  
じ。）。

提 出 先：3. ①と同じ。

提出方法：電子入札システムによる提出で、参加表明書及び企画提案書の容量が3M  
Bを超える場合には、郵送（書留郵便に限る。）又は電送（着信を確認する  
こと。）で提出すること。郵送又は電送で提出する場合には、必要書類の一  
式を郵送又は電送で送付するものとし、電子入札システムとの分割は認め  
ない。また、郵送又は電送にて提出する場合は、下記の内容を記載した書  
面を電子入札システムにより参加表明書として送信すること。

- ①郵送又は電送する旨の表示
- ②郵送又は電送する書類の目録
- ③郵送又は電送する書類のページ数

④ 発送年月日

ファイル形式：電子入札システムによる参加表明書のファイルの形式については、以下のいずれかの形式にて作成することとする。

- ・ 一太郎 2007 以下
- ・ Microsoft Word2002 以下
- ・ Microsoft Excel2002 以下
- ・ その他アプリケーション PDFファイル Acrobat6.0 以下  
画像ファイル JPEG及びGIF形式  
圧縮ファイル LZH形式

留意点：複数の申請書類は、すべてを1つのファイルにまとめ、契約書等印があるものや図面等については、スキャナ等で読み込み本文に貼付けること。  
参加表明書と企画提案書を併せて参加表明書として提出すること。

5. 説明書の内容についての質問の受付及び回答

1) 質問は、文書（書式自由、ただし規格はA4判。）により行うものとし、持参、郵送（書留郵便に限る。）、電送又は電子メール（着信を確認すること。）のいずれの方法でも可能とする。なお、文書には回答を受ける担当窓口の部署、氏名、電話及びFAX番号、電子メールアドレスを併記するものとする。

(1) 質問の受付先：3. ①と同じ。

(2) 質問の受付期間：平成22年3月26日から平成22年4月5日まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日  
10時00分から16時00分まで

2) 質問に対する回答は、質問を受理した日から5日（休日を含まない。）以内に質問者に対して電送又は電子メールにより行うほか、下記のとおり閲覧に供する。

(1) 閲覧場所：3. ①と同じ。

(2) 閲覧期間：回答の翌日から企画提案書の提出期限の前日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、10時00分から16時00分まで

6. 非選定理由に関する事項

1) 参加表明書を提出した者のうち、企画提案書の提出者として選定されなかった者に対しては、分任支出負担行為担当官設楽ダム工事事務所長から選定されなかった旨と、その理由（非選定理由）を電子入札システムにより通知する。ただし、紙入札方式による場合には、書面（非選定通知書）をもって、通知する。

2) 上記1)の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して5日（休日を含まない。）以内に、書面（様式は自由）により、分任支出負担行為担当官設楽ダム工事事務所長に対して非選定理由について説明を求めることができる。

3) 上記2)の回答は、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して5日以内に書面により行う。

4) 非選定理由の説明請求の受付場所及び受付時間は以下の通りである。

(1) 受付場所：3. ①と同じ

(2) 受付日時：土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分～16時00分まで。

## 7. ヒアリング

ヒアリングは、基本事項の確認のみとし、企画提案審査後に実施するものとし、原則として企画提案の評価において満点の60%以上の評価値を得た者を対象に実施するものとする。

- (1)実施場所：中部地方整備局 設楽ダム工事事務所
- (2)実施日時：平成22年4月23日 ～ 平成22年4月27日
- (3)ヒアリングの日時は協議の上、決定する。
- (4)ヒアリングの時間、留意事項等は別途通知する。
- (5)ヒアリングは配置予定管理技術者に対して行うものとし、配置予定管理技術者以外の出席は認めない。

## 8. 企画提案書を特定するための評価基準

- 1) 企画提案書の評価項目、判断基準及び配点は、以下のとおりである。
- 2) 企画提案書の記載内容及びヒアリングでの聞き取り内容において次の項目に該当し、業務が適切に履行できないと判断される場合は特定しない。

### ①企画提案書の非特定事項

- ・内容が殆ど記載されておらず、提案内容が判断できない。
- ・業務目的に反する記述や事実誤認等適切な業務執行が妨げられる内容となっている。
- ・実施方針と特定テーマの企画提案に矛盾等があり、整合性が図られていない。
- ・原則として、企画提案の評価において満点の60%に満たない評価値の場合。

### ②ヒアリングの非特定事項

- ・技術者自身の業務実績について説明できない等自ら主体的に携わったことが認められない
- ・本業務の目的、内容又は企画提案の内容を理解していない
- ・質問に対する回答が全くない、若しくは回答が著しく不適切

評価項目	評価の着目点		配点	
	判断基準			
基本事項 (企業)	業務実績	平成12年度以降 (10年間)の同 種業務の実績	提出された3件の同種業務の実績について、業務実績の内容、本業務との関連性等を勘案し評価する。	5
	企業信頼度(指名停止等)		企画提案書提出日より以下の期間内に中部地方整備局から処分を受けている場合、評価点を減じる。  ア) 営業停止又は指名停止期間処理後6ヶ月	-10

			イ) 文書注意後 2 ヶ月 ウ) 口頭注意後 1 ヶ月	
基本事項 (技術者)	業務実績	平成12年度以降 (10年間)の同 種業務の実績	提出された 3 件の同種業務の実績について、業務 実績の内容、本業務との関連性等を勘案し評価す る。	10
企画提案 書	実施方針		実施方針(工程表や業務フロー等を含む)につい て、業務の内容、目的を理解し、業務成果の品質 向上に資する提案や業務実施方針の妥当性が高い 場合に優位に評価する。	10
	業務実施体制		実施体制について、業務を遂行する上で適切な体 制が確保されている場合や業務経験者や専門技術 者を配置している場合に優位に評価する。	5
	特定テーマ① 資料収集における留意点		特定テーマについて、業務の課題・留意点等を十 分に理解しており、提案内容が的確かつ実現性が 高い場合や独創的な提案の場合に優位に評価する。	25
	特定テーマ② 実態調査等にあたっての 留意点		特定テーマについて、業務の課題・留意点等を十 分に理解しており、提案内容が的確かつ実現性が 高い場合や独創的な提案の場合に優位に評価する。	25
ヒアリン グ	業務実績及び専門技術力		業務を実施するために必要となる専門技術力及び 業務に関連する専門技術の知識が確認できる場合 に優位に評価する。	10
	取り組み姿勢		本業務の目的、内容を十分理解し、取り組み意欲 が高い場合や企画提案内容の理解度が確認できる 場合に優位に評価する。	5
	技術対話力		技術的知識や豊富な経験に基づいた対応の場合に 優位に評価する。	5
参考見積	業務コストの妥当性		揭示した業務規模と大きくかけ離れているか、ま たは見積もりが不適切な場合は特定しない。	—

## 9. 特定に関する事項

- 1) 企画提案書が特定された者に対しては、特定通知書を電子入札システムにより通知する。  
ただし、紙入札方式による参加者については書面により通知する。
- 2) 通知日については、下記のとおり予定している。  
通知予定日：平成22年4月15日

## 10. 非特定理由に関する事項

- 1) 提出した企画提案書が特定されなかった者に対しては、分任支出負担行為担当官設楽ダム工事事務所長から特定されなかった旨と、その理由（非特定理由）を電子入札システムにより通知する。ただし、紙入札方式による場合には、書面（非特定通知書）をもって、通知する。
- 2) 上記1)の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して7日（休日を含まない。）以内に、書面（様式は自由）により、分任支出負担行為担当官設楽ダム工事事務所長に対して非特定理由について説明を求めることができる。
- 3) 上記2)の回答は、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して10日以内に、書面により行う。
- 4) 非特定理由の説明書請求の受付場所及び受付時間は以下の通りである。  
受付場所：3. ①の提出先と同じ。  
受付時間：土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、10時00分～16時00分まで。

#### 11. 契約書作成の要否等

契約書は用地調査等請負契約書により契約書を作成するものとする。

#### 12. 支払条件

前払金 無 部分払 無

#### 13. 再苦情申立て

- 1) 分任支出負担行為担当官からの非選定理由の説明又は非特定理由の説明に不服がある者は、分任支出負担行為担当官からの回答を受け取った日の翌日から起算して7日（休日を除く）以内に、書面により、中部地方整備局長に対して、再苦情の申立てを行うことができる。なお、再苦情の申立てについては、入札監視委員会が審議を行う。
- 2) 再苦情申立ての受付場所及び再苦情申立てに関する手続き等を示した書類等の入手先：
  - ・ 中部地方整備局 主任監査官（契約管理官・技術開発調整官）
  - ・ 電話 052-953-8113（直通）内線2114（2222・3120）
  - ・ 時間 上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く10時00分から16時00分まで

#### 14. 関連情報を入手するための照会窓口

3. ①と同じ

#### 15. 参加表明書の作成及び記載上の留意事項

##### 1) 参加表明書の作成方法

参加表明書は、別添（様式-1～5）に示すとおりとする。なお、文字サイズは10ポイント以上とし、書類の作成に用いる言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法によるものとする。

なお、提出書類について、本説明書及び別添の書式に示された条件に適合しない場合は無効とすることがある。

##### 2) 参加表明書の記載上の留意事項

---

記載事項	内容に関する留意事項
参加表明者の同種業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加希望者が過去に受注した業務実績について記載する。</li> <li>・記載する業務は平成12年度以降（10年間）に完了した業務とする。</li> <li>・記載する業務の件数は、3件までとする。</li> <li>・記載様式は様式-2とし、図面、写真等を引用する場合も含め、1業務につきA4判2枚以内に記載する。</li> </ul>
配置予定主任担当者の経歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置予定主任担当者について、資格、経歴等を記載する。</li> <li>・手持ち業務は本業務の公示日現在、国土交通省以外の発注者（国内外問わず）のものも含めすべて記載する。 なお、手持ち業務のうち、国土交通省直轄業務において調査基準価格を下回る金額で落札した業務は、業務名の先頭に【低】を付して記載すること。 手持ち業務とは管理技術者、担当技術者として従事している契約金額が500万円以上の他の業務とし、プロポーザル方式による業務で配置予定主任担当者として特定された未契約業務がある場合は、手持ち業務の記載対象とし、業務名の後に「特定済」と明記するものとする。</li> <li>・記載様式は様式-3とする。</li> </ul>
配置予定主任担当者の同種業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置予定主任担当者が過去に従事した同種業務の実績を記載する。</li> <li>・記載する業務は平成12年度以降（10年間）に完了した業務とする。</li> <li>・記載する業務の件数は、3件までとする。</li> <li>・記載様式は様式-4とし、図面、写真等を引用する場合も含め、1業務につきA4判2枚以内に記載する。</li> </ul>
業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の分担について記載する。</li> <li>・他の建設コンサルタント等に当該業務の一部を再委託する場合又は学識経験者等の技術協力を受けて業務を実施する場合は、備考欄にその旨を記載するとともに、再委託先又は協力先、その理由（企業の技術的特徴等）を記載すること。ただし、業務の主たる部分を再委託してはならない。</li> <li>・記載様式は様式-5とする。</li> <li>・業務の分担がない場合も様式に「業務の分担なし」と記載して提出すること。</li> </ul>

①業務実績を証明する資料及び配置予定管理技術者の資格証明書の写し

参加表明者が過去に受注した業務実績として記載した業務について、その業務に係る契約書の写しを提出すること。

配置予定主任担当者が過去に従事した同種業務の実績として記載した業務について、請負業務で従事した実績の場合、その業務に係る契約書及び配置予定主任担当者が従事したことが確認できる資料（例えば業務計画書の表紙及び配置予定主任担当者が業務に従事していることが確認できるページ）等の写しを提出すること。

なお、発注者の立場として業務に従事した実績の場合、その業務の発注機関の証明を受けた、予定主任担当者がその業務に従事したことが類推できる経歴書等の資料を提出すること。

ただし、参加表明者及び配置予定主任担当者の業務実績が、財団法人日本建設技術総合センターの「測量調査設計業務実績情報システム（TECRIS）」に登録され、業務の内容が確認できる場合、契約書の写しは提出する必要がない。

また、配置予定主任担当者が保有する資格について、合格証明書等の写しを提出すること。

#### 16. 企画提案書の作成及び留意事項

企画提案書は、別添（様式－6～9）に示すとおりとし、以下に留意して作成するものとし、提案内容の根拠等を説明できる資料を補足資料として添付すること。

なお、企画提案書は、本業務における具体的な取り組み方法について提案を求めるものであり、成果の一部の提出を求めるものではない。本説明書において記載された事項以外の内容を含む企画提案書については、提案を無効とする場合があるので注意すること。

##### ①企画提案書の内容に関する留意事項

記載事項	内容に関する留意事項
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の実施方針について記載する。</li> <li>・記載様式は様式－7とし、A4判1枚以内に記載する。</li> </ul>
業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の実施体制について記載する。</li> <li>・記載様式は様式－8とし、A4判1枚以内に記載する。</li> </ul>
特定テーマ	<p>特定テーマについて対する取り組み方法等を記載する。</p> <p>①資料収集における留意点の提案  公的資料、漁協資料等の調査及び分析をするうえでの留意点について簡潔に記載する。</p> <p>②実態調査にあたっての留意点の提案  漁場調査、現地調査の調査及び分析をするうえでの留意点について簡潔に記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載にあたっては、概念図、出典の明示できる図表、既往成果、現地写真を用いることに支障はないが、本件のために作成</li> </ul>

	<p>したCG、詳細図面等を用いることは認めない</p> <p>・記載様式は様式－9とし、1テーマにつきA4判2枚以内に記載する。</p>
参考見積	<p>・本業務に係る参考見積を提出すること。</p> <p>・なお、積算の参考とするため、特定者には再度見積を依頼する。</p> <p>・記載様式は特に定めないが、A4判1枚に記載する。</p>

## ②既存資料の閲覧

企画提案書の作成にあたり、以下の資料を閲覧することができる。

- 1) 資料名：豊川水系設楽ダム建設事業 環境影響評価書
- 2) 閲覧場所：3. ①と同じ。
- 3) 閲覧期間：企画提案書の提出期限の前日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで（事前に3. ②の担当部局に連絡すること。）

## ③業務量の目安

本業務の参考業務規模は、12百万円程度（補償コンサルタントに委託する場合）を想定している。なお、本業務の技術経費率は、30%とする。

## 17. その他の留意事項

- 1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- 2) 書類の作成に用いる言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法によるものとする。
- 3) 参加表明書提出期限から見積合せの日までの間に中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けた場合は、非特定又は特定の取消の手続きを行うこととする。なお、見積合せの日は平成22年5月21日を予定している。
- 4) 2. 4) の同種又は類似業務の実績については、我が国及びWTO政府調達協定締約国その他建設市場が開放的であると認められる国等以外の国又は地域に主たる営業所を有する建設コンサルタント等にあつては、我が国における同種又は類似業務の実績をもって判断するものとする。
- 5) 本業務を受注したコンサルタント及び本業務を受注したコンサルタントと資本・人事面等において関連があると認められた製造業者又は建設業者は、本業務に係る工事の入札に参加等することができない。
- 6) 本業務の履行期間中に終期がある当該事務所発注の資料作成整理業務を受注している者は、本業務の入札に参加できない。
- 7) 提出期限までに参加表明書を提出しない者および企画提案書の提出者に選定された旨の通知を受けなかった者は、企画提案書を提出できないものとする。
- 8) 参加表明書及び企画提案書の作成、提出及びヒアリングに関する費用は、提出者の負担とする。
- 9) 参加表明書及び企画提案書に虚偽の記載をした場合には、参加表明書及び企画提案書を無効とするとともに、虚偽の記載をした者に対して指名停止の措置を行うことがある。
- 10) 提出された参加表明書は返却しない。なお、提出された参加表明書は、企画提案書の提出

者の選定以外に提出者に無断で使用しない。

- 11) 特定されなかった場合、電子入札システムにより企画提案書を提出した場合には電子入札システムから企画提案書を削除することとし、持参等にて企画提案書を提出した場合には企画提案書を返却する。なお、提出された企画提案書は、企画提案書の特定以外に提出者に無断で使用しない。また、特定された企画提案書を公開する場合には、事前に提出者の同意を得るものとする。
- 12) 参加表明書及び企画提案書の提出後において、原則として参加表明書及び企画提案書に記載された内容の変更を認めない。また、参加表明書及び企画提案書に記載した予定技術者は、原則として変更できない。但し、病休、死亡、退職等のやむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者であるとの発注者の了解を得なければならない。
- 13) 電子入札システムは土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く毎日、9時00分から18時00分まで稼動している。また、稼動時間内でシステムをやむを得ず停止する場合、稼動時間を延長する場合は、電子入札施設管理センターホームページ「ヘルプデスク」コーナーの「緊急連絡情報」で公開する。
  - ・電子入札施設管理センターホームページ <http://www.e-bisc.go.jp/>
- 14) システム操作上の手引書としては、国土交通省発行の「電子入札準備手順書」を参考とすること。「電子入札準備手順書」は、電子入札施設管理センターホームページでも公開している。
- 15) 障害発生時及び電子入札システム操作時の問い合わせ先は下記のとおりとする。
  - ・システム操作・接続確認等の問い合わせ先  
電子入札施設管理センターヘルプデスク 電話03-3505-0514  
電子入札施設管理センターホームページ <http://www.e-bisc.go.jp/>
  - ・ただし、申請書類、応札等の締切時間が切迫しているなど緊急を要する場合は、中部地方整備局設楽ダム工事事務所総務課 電話 0536-23-4331へ連絡すること。
- 16) 参加希望者が電子入札システムで書類を送信した場合には、通知、通知書及び受付票を送信者に発行するので、必ず確認を行うこと。

○参加表明書標準例

(様式-1)

参加表明書

業務の名称 平成22年度 設楽ダム漁業実態調査

履行期限 平成23年3月25日

標記業務の参加表明書を提出します。

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官

中部地方整備局

設楽ダム工事事務所長 堀 与志郎 殿

提出者) 住 所  
電話番号  
F A X  
会社名 ○○建設コンサルタント(株)  
代表者 役職名 氏名 (印※)  
作成者) 担当部署  
氏名  
F A X  
E-mail

(※ 紙入札方式の場合は押印すること)

## 入札参加希望者の同種業務の実績

業務の分類	
業務名	
TECRISの登録番号	
契約金額	
履行期間	
発注機関名 住所 TEL	
業務の概要	

※業務分類には、同種業務を記載すること。

※業務の概要については具体的に記述すること。

※図面、写真等を引用する場合も含め、1業務につきA4判2枚以内に記載する。

## 予定主任担当者の経歴等

ふりがな ①氏名		②生年月日		
③所属・役職				
④保有資格 (資格名、登録番号、取得年月日)				
⑤手持業務の状況(平成22年3月25日現在), 契約金額500万円以上(ただし、国土交通省直轄業務において調査基準価格を下回る金額で落札した業務は、業務名の先頭に【低】を付して記載すること。)				
業務名 (TECRIS登録番号)	職務上の立場	発注機関	履行期間	契約金額
				(契約金額合計 万円)

## 予定主任担当者の同種業務の実績

業務の分類	
業務名	
TECRISの登録番号	
契約金額	
履行期間	
発注機関名 住所 TEL	
業務の概要	

※業務分類には、同種業務を記載すること。

※業務の概要又は従事経験内容を具体的に記載すること。

※図面、写真等を引用する場合も含め、1業務につきA4判2枚以内に記載する。

・業務実施体制

分担業務の内容	備 考

注1：業務の分担について記載するものとする。

なお、業務の分担を行わない場合は、分担業務の内容の欄に「業務の分担なし」と記載する

注2：他の建設コンサルタント等に当該業務の一部を再委託する場合又は学識経験者等の技術協力を受けて業務を実施する場合は、備考欄にその旨を記載するとともに、再委託先又は協力先、その理由（企業の技術的特徴等）を記載すること。ただし、業務の主たる部分を再委託してはならない。

(様式－6)

## 企画提案書

業務の名称 平成22年度 設楽ダム漁業実態調査

履行期限 平成23年3月25日

標記業務について、企画提案書を提出します。

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官

中部地方整備局

設楽ダム工事事務所長 堀 与志郎 殿

提出者) 住 所  
電話番号  
会 社 名 ○○建設コンサルタント(株)  
代 表 者 役職名 氏名 (印※)  
作成者) 担当部署  
氏 名  
F A X  
E-mail

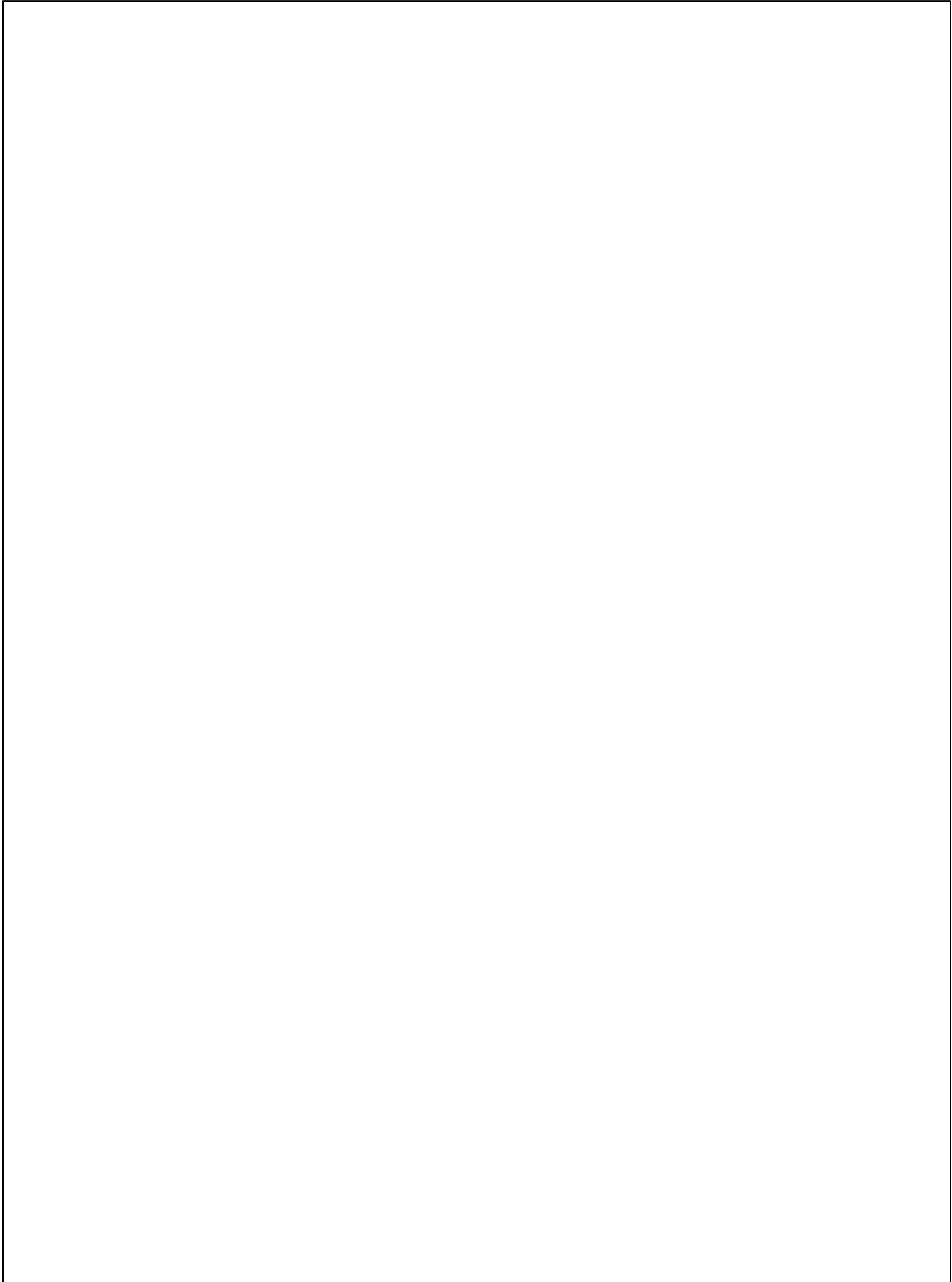
(※ 紙入札方式の場合は押印すること)

実施方針

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for the implementation policy. The box is currently blank.

※A 4判1枚以内に記載する。

業務実施体制



※A 4判1枚以内に記載する。

特定テーマ1

○○○○○○○○

A large empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for the student to write their response to the specified theme.

※A4判2枚以内に記載する。

特定テーマ2

○○○○○○○○

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to write their response to the specified theme.

※A4判2枚以内に記載する。